

機關銃中隊
 戰列隊馬 杉原號 杉檜號 杉川號 杉大號
 杉西號 杉水號 杉森號 球林號 杉家號
 杉松號 杉椿號 杉森號 一二頭
 砲兵輓馬 杉北號 杉亞號 杉夏號 杉春號
 杉潮號 杉東號 杉谷號 杉金號 杉香號
 杉町號 一頭
 戰列隊馬 杉畑號 杉榎號 杉梅號 杉竹號
 杉山號 杉冬號 杉南號 七頭

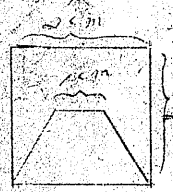
右通り馬匹ヲ配當ス
 (十二月三十一日附)

石九六會第五號

會報

一月八日 五城國民學校

- 一 師團第一回武技競技會ハ來ル一月下旬師團司令部於テ將校下士官兵ニ區分シ銃劍術手榴彈投擲種目ヲ實施セラル、豫定ニ付各隊ハ一層之ガ練磨ニ勉メラレ度尚實施方法細部ハ追テ示サル、等
- 二 十一大隊ニ於テ火災ヲ起シ兵舎ヲ燒キ爲ニ輕機四小銃一ニヲ燒失セリ
 各隊ハ特ニ火災豫防ニ注意且常時豫防對策等ヲ構シ尙モ不注意ニ依リ係ル不詳事件ヲ惹起スルガ如キ事ナキ樣嚴ニ監督指導セラレ度
- 三 一月六日附部隊勤務ヲ命セラレタル成毛軍醫少尉ハ一月七日着隊ス
- 四 水崎隊ヨリ左官心得アル兵一名ヲ明九日八時迄ニ經理室前ニ差出シ武藤主任計中尉指示ヲ受クベシ
- 五 後方施設ニ關スル内規ヲ別冊通リ定ム
- 六 白砲與山隊(球ハハ四部隊)當名腰痛營ニ胸部標識



七 奥山隊ノ外出日ハ火曜日トシ後方施設ハ富名腰ニ設置シアルモ利用スル
 モトス
 八 後方施設ハ和會館ヲ富里中央ニ及路及敷島館ヲ富名腰中央ニ設
 置シ明後十日ヨリ營業ス
 依テ各隊ハ外字關スル規定並後方施設ニ關スル内規ハ明後十日ヨリ
 準用スルモトス

飯塚地區防衛担任地區内ニ於ケル秩序ニ關スル規定
 軍紀風紀維持監視監督並ニ外出ニ關スル規定

昭和三五九六部隊

- 一 本規定ハ飯塚地區防衛担任地域内ニ於ケル陸軍部隊(配屬セラル
 タル場合ハ海軍部隊ヲ含ム以下同シ)ノ秩序軍紀風紀維持監視
 視監督並ニ外出ニ關シ部隊ニ於テ統制スベキ事項ヲ規定ス
- 二 防衛担任地区内ニ衛戍勤務令ニ準ジ毎日巡察將校(准士官)ヲ
 含ムヲシテ担任防衛地区内ヲ巡察セシメ軍ノ秩序軍紀風紀
 維持監視監督ニ任セシム
- 三 巡察ノ結果ハ巡察終了直後筆記報告セシメ旅團長ニ報告ス
 巡察將校ノ外毎日右ニ準シ巡察下士官ヲ派遣ス
 巡察ニ關スル細部指示別紙如シ
- 四 尚外出ヲ許可シタル中隊ハ適宜外出区域内ニ巡察ヲ派遣シ
 軍紀風紀ニ遺憾ナキヲ期スベシ
- 五 下士官兵外出区域別紙要圖如シ

五 一般休養日(外出区分)左ノ如シ

日	割	第一回	第二回	第一回	第二回	備
月	曜	日	日	日	日	各隊長は日割ニ基テ下ニ 官兵ノ外出ヲ許可スルコ トヲ得
火	曜	日	日	日	日	一日ノ外出人員ハ各隊人員ノ 四分ノ以内トス
水	曜	日	日	日	日	三各隊全般ノ休養ハ世々 日外出日トシテ第二回外 出日ハ外出者ノ休養 スルモノトス
木	曜	日	日	日	日	
金	曜	日	日	日	日	
土	曜	日	日	日	日	
日	曜	日	日	日	日	
本	部	本	部	本	部	
松島隊	出村隊	須川隊	天倉隊	伊藤隊	古瀬隊	
通信	古瀬隊	水崎隊	松田隊	橋本隊	橋本隊	
作業	橋本隊	伊藤隊	松田隊	古瀬隊	橋本隊	

六 外出ノ服装ハ徒手帶劍巻脚絆水筒携行トス

七 外出ハ丁號戰備聞ノミ許可ス

但シ各隊長ハ情況ヲ判断シ特定ノ場所ニ限リ丙號戰備ニ於テモ適宜

外出セシムルコトヲ得

尚下士中隊兵ハ越刻外出ハ許可セズ

八 外出中敵飛行機ヲ發見又ハ同警報 火災警報及丙號以上ノ戰備下
令ヲ聞キヨル時ハ速ニ歸隊スルモノトス

尚外出中一般民家ニ立入ルヲ許サズ

九 外出ニ方リテハ二名乃至三名ノ戰友組ヲ以テ行動ノ單位トス

一 本規定ニ規定シテ非ザル事項ハ作戰要務令 衛戍令 同勤務令及軍隊

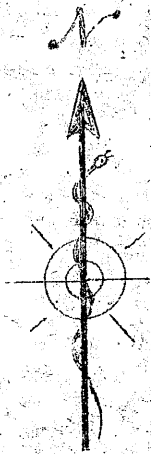
内務令ヲ準用スルモノトス

巡察官ノ細部指示

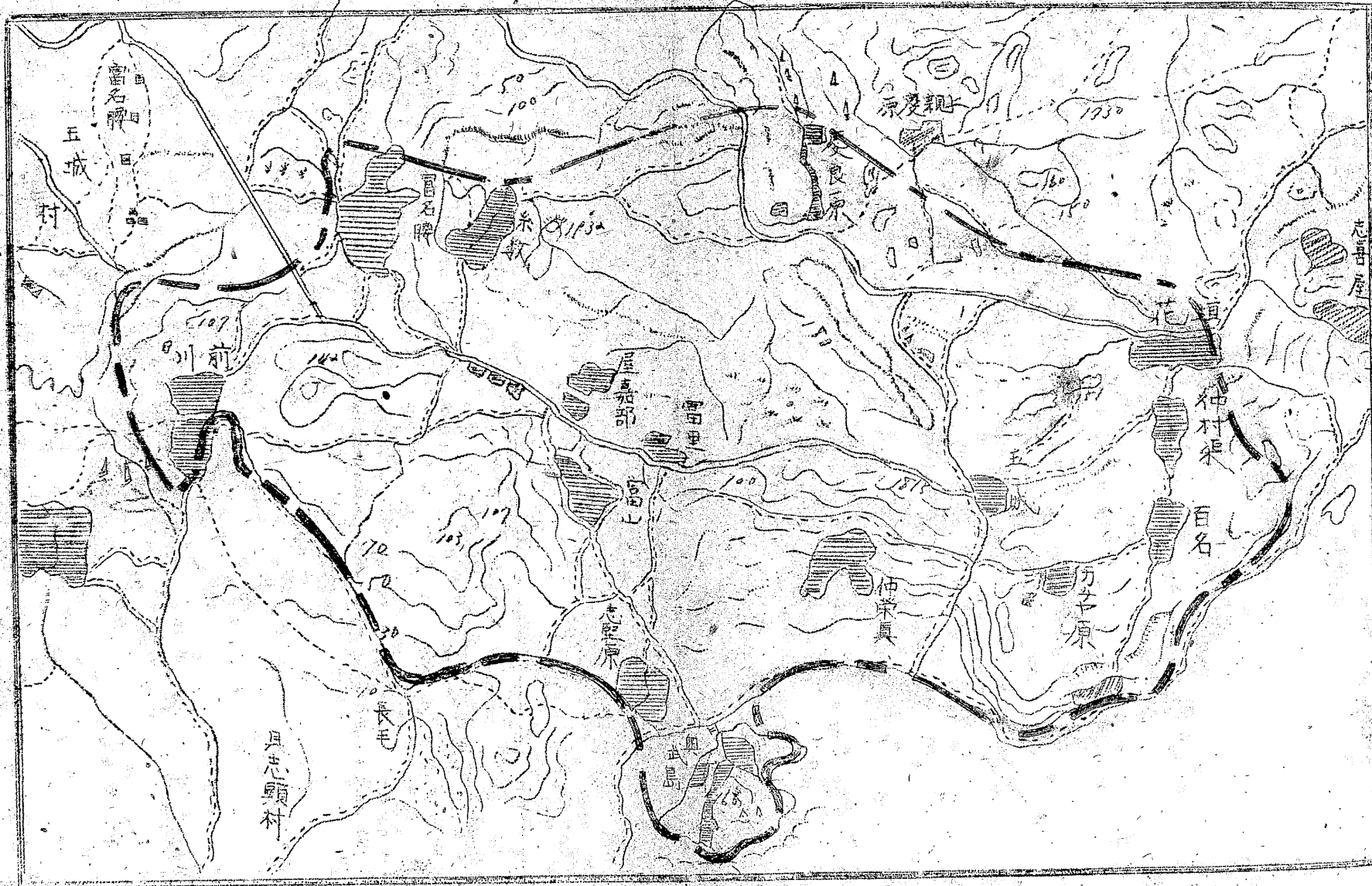
- 一 爾令將校、下士官、巡察官ハ左ノ如ク實施スルモノトス。
 1. 人員將校(准士官ヲ含ム)一名、兵一名ヲ自己中隊ヨリ隨行スルモノトス。
 2. 巡察區域ハ飯塚地区トシ特ニ部隊所在地ヲ重點トシ巡察スルモノトス。
 3. 巡察經路及時間ハ別命ナキ場合、他巡察官ニ於テ適宜定ムルモノトス。
 4. 巡察將校、別紙巡察報告書着眼事項、基キ巡察シ下番時報告ヲ二部提出スルモノトス。但シ一部ハ鉛筆書ニテ可ナリ。
 5. 服裝ハ單獨ノ軍裝トシ兵ハ執銃トス。
 6. 所見ハ逐々テ具體的ニ記録スルモノトス。
一例。隊上等兵某ハ一四〇項無帶劍或ハ公用證ヲ所持スル者數ヲ外出シテ等
巡察下士官ハ總テ巡察將校ノ命ヲ受クルモノトス。但シ巡察官ノ所見ヲ
記入シ巡察將校ノ點檢ヲ受ケ報告スルモノトス。

飯塚防衛外地區要圖

昭和十二年一月八日



1/20000



備考
 一 線内ヲ外立区域トス
 二 各隊ニ於テ更ニ外立区域ノ細部ヲ定ム
 ルモノトス

後方施設ニ關スル内規

昭和二三五九六部隊

第一 本規定ハ石第三五九六部隊後方施設ニ必要ナル事項ヲ定ム

第二 本施設ヲ大和會館(分館ヲ敷島館)ト呼稱シ石第三

五九六部隊(配屬部隊ヲ含ム)及特ニ指定スル協同部隊

之ヲ使用ス

第三 會館使用區分左如シ

大和會館 本部 江戸隊 松島隊 天倉隊 須川隊

外山隊 出村隊 患者療養所

敷島會館 伊藤隊 松田隊 水崎隊 橋本隊 作業

隊 通信班 古瀬隊

第四 左各項ニ該當スルモハ會館ニ出入スルコトヲ得ズ

ハ見習士官ニ

本業基本教育間、初年兵

部隊長又ハ各隊長ニ於テ出入ヲ不適當ト認メタルモノ

第五 會館利用時間ハ其分ニ應ズル外外出時限内トシ正午ヨリ

兵ハ夕食時限一時間前、下士官ハ點呼時限一時間前迄トス

(營外下士官ハ營内下士官ニ同シ)

尚下士官以下、臨時延刻外出ヲ嚴禁ス

第六 左記委員ヲ設ケ各其業務ヲ分担セシム

左記

委員長 全般統轄

甲委員 軍紀風紀

乙委員 經理一般

丙委員 衛生一般

第七 會館ヲ利用シテ將校ハ下士官ト下士官ハ兵ト會食スレ

コトヲ禁ス

第八 會食場使用ハ部隊長ヲ將校團結又ハ地方要人ヲ必要上

招待スル場合ニ限ル

但シ將校ニシテ會食場使用ヲ是非必要トスル場合ハ利

用目的ヲ明シ前日正午迄ニ委員長ニ詐ニ申出テ部

隊長ニ認可ヲ受ケルモノトス

第九 會館ニ是休日ハ毎月八日及二十三日トシ從業員身體検査

ハ毎週上曜日ハ午前ニ於テ軍醫之ヲ實施スルモノトス

第十 會館使用ニ方々堅ク左記諸件ヲ嚴守スルモノトス

一 軍紀風紀ヲ嚴正ニスルコト 時局柄地方人ニ惡感作

ヲ及ボサハル如ク注意コト

二 防諜ニ關シ特ニ注意シ軍機秘密ヲ漏洩スルガ如キ有害

ナル談話ヲ禁ス

三 禮儀ヲ重シク又經營者從業者對シ非常識ナル言

動ヲ爲ササルコト

※ 建物及備付、器物諸物品ヲ破損シ或ハ使用物品ヲ持出
ザサルコト

破損ニ對シテハ損害賠償ノ責ヲ負ハシム

第十一 花代尾ノ如シ

一時間 兵 三五〇 下士官 三〇〇 將校(准士官ヲ含ム) 五〇〇

前半夜(二十三時迄) 一〇〇〇

後半夜(二十三時以後) 一〇〇〇 將校(准士官ヲ含ム) 後半夜三時

前後半夜(三時 迄) 一五〇〇 以後ハ懲罰業セス

第十三 當分間切符制トシ從業員一名ニ對シ一日下士官ニ枚 兵ニ枚

以內トス

切符ハ本部ニ於テ發行シ様式左ノ如シ

下士官	慰安券	第 3596 號	石 第 第
副官印	隊印		
兵	同	上	

一四 經營者ハ前項様式ノ慰安券ヲ携行セサル者ハ出入セシメサル

モトス

不明

一月九日	晴	火曜	於五城國民學校
陣地構築	一	大塚前日三	築城作業ヲ實施ス
戰備ノ度	二	石五九	別紙石五九清第9號ヲ如シ
日々命令	三	石五九	別紙石五九清第9號ヲ下達ス
會報	四	石五九	別紙石五九清第9號ヲ下達ス
出張	五	石五九	別紙石五九清第9號ヲ下達ス
勤務	六	石五九	別紙石五九清第9號ヲ下達ス
規程	七	本日規程	馬前 飯塚少佐以下五名

馬前 飯塚少佐以下五名

白直下士官
 大塚前日三
 築城作業ヲ實施ス

石五九
 別紙石五九清第9號ヲ如シ
 別紙石五九清第9號ヲ下達ス

石五九
 別紙石五九清第9號ヲ如シ
 別紙石五九清第9號ヲ下達ス

石五九
 別紙石五九清第9號ヲ如シ
 別紙石五九清第9號ヲ下達ス

石五九
 別紙石五九清第9號ヲ如シ
 別紙石五九清第9號ヲ下達ス

石五九
 別紙石五九清第9號ヲ如シ
 別紙石五九清第9號ヲ下達ス

石五九
 別紙石五九清第9號ヲ如シ
 別紙石五九清第9號ヲ下達ス

石五九
 別紙石五九清第9號ヲ如シ
 別紙石五九清第9號ヲ下達ス

石五九
 別紙石五九清第9號ヲ如シ
 別紙石五九清第9號ヲ下達ス

石五九
 別紙石五九清第9號ヲ如シ
 別紙石五九清第9號ヲ下達ス

一月九日 敵機編隊北進中ト情報ニヨル

一月九日 敵機編隊北進中ト情報ニヨル

一月九日 敵機編隊北進中ト情報ニヨル

石十五情第九號
 一月九日 敵機編隊北進中ト情報ニヨル
 石第三五九六部隊

情報報 (警報)

- 一本九日十八日 宮古島地区ニ空襲警報發令サル
- 二 彼我不明機 那覇方向ニ進行中
- 三 日八五〇 警戒警報發令 敵機編隊近接、兆アルニヨル
- 四 日九〇〇 空襲警報發令 敵大編隊北進中ト情報ニヨル
- 五 一〇・三〇 空襲警報解除

宮古島ニ未襲カ敵機離脱セルニヨル